



東 総 一 42
平成19年5月 1日

国土交通省 道路局長 様

秋田県雄勝郡東成瀬村
村 長 佐々木 哲 男



中期的な計画の作成にあたっての意見について（回答）

このことについて、別紙のとおり回答しますのでよろしくお願い致します。

今後の道路施策や道路の整備・管理についての意見

◎ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

地方と都市の格差は経済、文化、人的交流の面などで開く一方である。この要因として考えられるものに、県境に位置する自治体の多くが抱える共通の課題があります。

それは、国道や主要地方道でありながら6ヶ月間半年もの間冬期閉鎖になる現状が、経済活動を含めあらゆる交流を阻害していることがあげられます。

さらに、開通時は峠道で冬期閉鎖になると完全袋小路となる、このような現状を背負った自治体にとっては、ひとたび災害及び重大事故が発生し一本しかない道路が寸断された場合、住民生活や救急医療に大きな不安を抱えているのが実状であります。

こうした県境に位置する自治体を結ぶ幹線道路の重点的な整備により通年通行を図ることによって、経済の活性化、交流人口の増大、雇用の創出が地方にもおよび格差是正につながるとともに、災害に強い国土づくりになると考えられる。

例えば、国道108号と国道107号の間に国道342号、国道397号、国道398号があるが、この3路線は6ヶ月間は冬期閉鎖されている。

◎ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

整備すべき路線の全線を規格道路として完全2車線化することなく、1.5車線化や待避所などで対応し、地域の事情にあった道路整備をする事を検討すべきである。

道路環境整備の観点からは、維持管理の容易な植樹を計画的に実施し二酸化炭素吸収対策も考慮すべきである。道路照明灯及び街路灯なども省エネルギー対策を検討する必要があるものとする。

◎ その他、道路施策や道路の整備・管理全般に関する意見

県境越えの道路沿線には多くの観光資源が賦存しており、近年の中老年層団塊の世代の登山、トレッキングブームはますます増え継続されるものと考えられ、観光交流人口も増大することから、観光拠点での駐車場対策、環境保護、衛生対策、災害・事故などの緊急時対策として、携帯電話の通話エリア拡大整備と情報連絡網の整備が急がれるほか、案内標識の整備、道路情報の提供のしかたなどが求められるものと思われる。

道路管理上からは、春山除雪により早期の冬期閉鎖解除が経済活動にも大きな影響を与える調査結果もありますので付け加えておきます。